



地域学校協働活動だより

令和8年10月28日発行 福島県教育庁県北教育事務所

～神輿づくり～

本宮市立本宮第一中学校

10月13日（火）に、本宮第一中学校で毎年恒例の「神輿づくり」の活動がスタートしました。約2週間をかけて制作されるお神輿は、10月末の市の秋祭りで披露され、生徒が実際に担いで街を練り歩きます。全校生による「神輿づくり」は、郷土のよさに触れ、郷土に貢献する活動として、地域の方々に支えられながら、昭和55年から続けられてきました。



【ダンボールと格闘しながら初めての制作にチャレンジする1年生】



私も本宮一中の卒業生なのですが、「うまくいかなかった作業があったとしても、それを次の活動に役立てることができれば、それは失敗ではない」ということを学んでほしいなと思って、これまで活動に協力してきました。

（前PTA会長より）

この地域には本宮一中のために力を貸してくださる方々がたくさんいらっしゃいます。神輿づくりに代表されるように、教員の異動に左右されず、生徒が安心して学べる「地域の力で生徒を育てる」しくみが根付いていると感じます。

（校長先生より）



【役割を分担しながら神輿づくりと大うちわづくりに取り組む2年生】



【用務員さんから学んだ耐久性アップのポイントを活用する3年生】



毎年この活動を楽しみにしています。完成したお神輿を担いで地域を歩き、みんなが笑顔になってくれると「つくってよかったな」とこっちも笑顔になります。お祭りまでに全員で力を合わせて、なんとか完成させたいです！

（生徒の声）



神輿づくりの作業に入る前に、学校運営協議会総合ディレクターの小野間宏子さんから全校生350名に向けて、「ずっと前から、毎年一中のお神輿が本宮の秋祭りを盛り上げてきました。地域みなさんも楽しみにされているので、みんなで力を合わせて完成させましょう！」というお話がありました。「『神輿づくり』は、地域とのつながりを実感できたり、教科の学習では見られない生徒の主体性が引き出されたりする貴重な機会になっていると感じています。」と小野間さん。たくさんの地域の方々の思いや願いに支えられながら、本宮第一中学校の「神輿づくり」の活動は46年目を迎えました。今年も、全校生による手づくりのお神輿計六基が本宮の秋を彩ります。